

令和5年度(2023年度)北海道防災総合訓練(前期)

○ 目的

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に係る津波浸水想定・被害想定を踏まえ北海道地域防災計画に基づき、北海道、防災関係機関、関係市町村が共同で大規模な地震津波災害を想定した訓練を実動で行うことにより、災害時における応急対策活動能力の向上を図り、北海道の災害対応力を強化することを目的とする。

○ 訓練日程・主要会場

令和5年10月15日(日) 新冠町、日高町、平取町

○ 主催等

●主催 北海道防災会議 ●共催 日高振興局管内7町

○ 訓練内容

1 訓練想定 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い、太平洋沿岸地域に巨大津波が発生

2 訓練実施項目

- 情報伝達訓練
 - 防災情報システム等複数の伝達手段を用いた情報伝達・共有
 - 各種手段(防災無線、エリアメール等)を活用した情報の伝達
 - 臨時災害放送局による避難所情報の発信
- 住民避難訓練
 - 車いす利用者など高齢者等避難行動要支援者への避難支援
 - 避難者にGPSを保持させ避難経路や移動距離等のデータを測定
- 避難所運営訓練
 - 受付時における一般避難者と要配慮者のトリアージ
 - 段ボールベッドの組立、救護所等のブース設置
 - 防災講話
 - ①「逃げるまでと逃げてから ～北海道型防災を考える～」
講師 日本赤十字北海道看護大学 教授 根本昌宏
 - ②「お菓のローリングストックについて」
講師 北海道薬剤師会 災害対策特別委員会委員 北井 学
 - ③「気象災害から身を守る」
講師 室蘭地方気象台 予報官 松本哲哉
- 情報収集訓練
 - 関係機関等による車両・防災関連物品等の展示、研修
 - カメラを搭載したヘリ・ドローンによる空撮映像の伝送
 - 可搬式中継局を搭載したドローンによる通信の確保
 - 各種システムを活用した関係機関との情報共有
- 広域避難訓練
 - 海岸地域の住民を内陸地域の他町の避難所へ広域避難させるためバスを活用した人員輸送
 - 受け入れ町における避難所の開設・運営、段ボールベッド組立、防災講話等
- 物資輸送訓練
 - ヘリによる被災地域への支援物資の航空輸送
 - 海岸沿いの道路が被災し通行不能となったことを想定した代替ルートからの物資輸送
 - 物資輸送調達支援システムの活用
- 救出救助訓練
 - ヘリ等による津波避難ビル及び高台避難場所からの急患並びに海中転落者の救出救助
 - 臨時のヘリ等運航調整所を開設し運航管理システムによる複数のヘリとドローンの運航調整
- 医療救護訓練
 - DMAT及び救急隊による傷病者の応急処置及び搬送
 - 浸水区域内病院から他町の内陸部受け入れ病院への患者移送

○ 参加機関等 計51 団体(うち町 7団体) 約 1,350名

【北海道(1)】

総務部危機対策局、総合政策部次世代社会戦略局、保健福祉部地域医療推進局、日高振興局

【訓練参加市町村(7)】

日高町、平取町、新冠町、浦河町、様似町、えりも町、新ひだか町

【公的機関(11)】

北海道総合通信局、北海道開発局、北海道地方測量部、札幌管区気象台、第一管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面隊、海上自衛隊大湊地方隊、北海道警察、北海道立総合研究機構、日高西部消防組合消防本部、ひだか漁業協同組合

【民間機関等(32)】

東日本電信電話株式会社北海道事業部、株式会社NTTドコモ北海道支社、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、楽天モバイル株式会社、北海道電力株式会社、北海道電力ネットワーク株式会社、公益社団法人北海道トラック協会、一般社団法人北海道薬剤師会、公益社団法人北海道看護協会、日高町立門別国民健康保険病院、平取町国民健康保険病院、医療法人王子総合病院、一般社団法人日本産業・医療ガス協会、一般社団法人日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会、アキレス株式会社、旭中芯株式会社、イオン北海道株式会社、株式会社クワザワ、合同容器株式会社、NPO法人コメリ災害対策センター、シエラ株式会社、新成物産株式会社、株式会社セコマ、株式会社ドリームベース、日本セイフティー株式会社、ひだかトヨタ自動車販売合同会社、株式会社日立製作所、HELICAM株式会社、北海道ドローン協会、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、株式会社ムラカミ
※上記については、主要会場において協力いただいた機関を掲載

○ 参加者の声(主要会場におけるアンケート集計結果)

■ 全般

全ての参加者が本訓練が役に立ったと述べている。

特に防災講話、段ボールベッドの組立及び災害用トイレの使用法が好評であった。

■ 訓練に参加して最も印象に残ったこと

1:段ボールベッドの組立 2:避難訓練(広域避難) 3:防災講話

■ 今後訓練に取り入れて欲しい事項

1:救急法(AEDの使用法など) 2:炊き出し 3:宿泊訓練

■ その他自由意見

○日頃から備えておくことの重要性を再認識した。

○実際に体験することで習得できたことが実感でき、自信がついた。

○避難した後の対策(低体温症やエコノミークラス症候群の防止等)をとることの重要性について、認識した。

○障害者や高齢者への避難支援の基本的な要領について習得した。より詳しく学びたい。

○本訓練に参加した住民の防災意識は高まったが、住民の防災意識の違いが避難行動に表れると思うので、そのギャップを埋めるのが課題

令和5年度(2023年度)北海道防災総合訓練(前期)の主な様子(主要会場)

平取町:ふれあいセンターびらとり



バスを活用した広域避難



段ボールパレットの組立



防災講話

日高町~平取町:患者移送訓練



日高国保病院からの搬出



平取国保病院への搬入

北海道庁:危機管理センター



伝送映像のモニタリング



ヘリ映像の伝送

日高町:救出救助・医療救護・物資輸送訓練



門別自然公園への住民避難



消防組合庁舎からのヘリ救助



門別自然公園からのヘリ救助



海中転落者の捜索



門別漁港からのヘリ救助



海中転落者の捜索



ヘリからの患者搬送



DMAT・救急隊による救急活動



ヘリによる物資輸送



トラックによる物資輸送



日高管内:ヘリ・ドローンによる情報収集



ヘリによる空撮



ドローンによる空撮(ドローン協会)



ドローンによる空撮(陸自)



ドローンによる空撮(開発局)

新冠町:新冠小学校



避難所の受付



車いす使用者の避難支援



支援物資の受領・搬入



防災講話



段ボールパレットの組立



防災関連物品等の展示

新冠町:ドローン中継局



ドローン中継局の飛行

日高町防災広場:ヘリ・ドローン調整



ヘリ・ドローンの運航調整



リエゾン等による調整会議